

比較政治学Ⅱ

科目ナンバリング POL-304
選択 2単位

甲斐 祥子

1. 授業の概要(ねらい)

比較政治学Ⅱでは、比較政治学Ⅰにひき続き、西ヨーロッパの主要国としてフランスとイタリアを取り上げ、さらに、超国家組織であるEUについても取り上げる。さらに、ヨーロッパ政治を理解するために必要な基礎的な概念である、ナショナリズム、エスニシティ、福祉国家、宗教について学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ①外国の政治に対する関心をさらに深め、自分なりに政治について考え、それを発信することができる。
- ②政治に関する広範な知識を身につけ、就職試験や卒業後の職業生活に役立てることができる。

3. 成績評価の方法および基準

2回のテストで知識とその定着を確認する。第1回テストと第2回テストの合計点(90%)と、授業への参加姿勢及び貢献度(発言やミニ・アンケートへの回答など、10%)を総合して評価する。テストは必ず受験する必要がある。学期末の第2回テストのみを受験しても合格点には達しないので、就職活動中の学生は特に注意すること。

4. 教科書・参考文献

教科書

池谷知明・河崎健・加藤秀治郎編著 『新・西欧比較政治』 一藝社

5. 準備学修の内容

授業後には、レジュメ・テキストも利用してノートを整理し、主要な事象や概念、キーワードについて復習する。授業前には、ノートで前回の内容を確認する。

メディア(テレビ、新聞、雑誌、インターネット等)を通じて積極的に情報を収集し、現実の政治や社会状況を知るように努める。その際、一種類のメディアに偏らずに多くの情報に接する。

様々な本を読み、様々な意見や考え方を知る。

6. その他履修上の注意事項

自らの問題意識を持って授業に参加することを望む。

テストの日程は変動する場合がある。テストの日程・注意事項、その他の連絡事項は、授業内及びLMSの連絡事項で発表するので、必ず確認すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業ガイダンス、イントロダクション・フランス1ー戦後フランスの政治①
- 【第2回】 フランス2ー戦後フランスの政治②
- 【第3回】 フランス3ー執政府と議会
- 【第4回】 フランス4ー政党と選挙制度
- 【第5回】 イタリア1ー戦後イタリアの政治
- 【第6回】 イタリア2ー執政府と議会
- 【第7回】 イタリア3ー政党と選挙制度
- 【第8回】 イタリア4ー現代イタリア政治の課題、第1回テスト(予定)
- 【第9回】 EU1ーEUの歴史と統合の道のり
- 【第10回】 EU2ーEUの制度、EUの課題
- 【第11回】 ナショナリズム・エスニシティ1ー概念と歴史
- 【第12回】 ナショナリズム・エスニシティ2ー現代ヨーロッパの課題
- 【第13回】 福祉国家ー概念と類型、現状
- 【第14回】 宗教と政治1ーヨーロッパにおける政教関係
- 【第15回】 宗教と政治2ーイスラム教とヨーロッパ政治、第2回テスト(予定)